

あなたの勇気、果敢なチャレンジ精神で
新しい風をふかせてほしい

薬剤師 Pharmacist



資料のご請求お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構
九州グループ 人事係



〒810-0065 福岡市中央区地行浜1丁目8番1号
TEL 092-852-1701
<https://kyusyu.hosp.go.jp>

NHO九州 検索

または、各病院の採用担当者までお気軽にお問い合わせください。



●ロゴマークについて

国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上を、飛翔する「翼」であらわし、柔軟な意識改革を示す毛筆で描きました。また、Health、Hospital、そして患者本位の懇切丁寧を意味するHospitalityの頭文字である「H」であらわし、健全な土台として描き、「翼」と組み合わせました。

国立病院機構とは

私たち国立病院機構は、医療の最前線で国民の健康を支えています。

担当理事挨拶

日頃より国立病院機構に対する多大なるご指導、ご支援に厚く御礼を申し上げます。おかげさまで、平成16年4月1日、独立行政法人国立病院機構が発足し、本日までの歩みは堅実で、良好な評価を受けております。

国立病院機構の診療事業として、地域における医療に一層貢献するため、都道府県が策定する医療計画を踏まえ5疾病(がん・精神・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病)及び5事業(救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児(救急)医療)を中心に取り組み、地域の医療機関との連携強化を図っています。

さらに、がん・循環器病などの高度先駆的医療、国際感染症等の対応、結核・重症心身障がい・神経難病等民間では対応が困難な医療についても、全国的なネットワークを展開し、医療提供体制の充実を図っています。

さて、国立病院機構は東京に本部をおき、全国141病院の管理、運営を行うとともに全国を6ブロック(北海道東北、関東信越、東海北陸、近畿、中国四国、九州)に分け、効率的な人事、地域医療連携や病院間連携等を推進・処理するために病院グループ制とし、各病院の業務の支援等を行っており、九州グループは28の病院を担当しております。

国立病院機構では、理念である「患者の目線に立って、安心して質の高い医療を提供し、積極的に地域医療への貢献に取り組むとともに治験を含む各種の臨床研究、各種医療従事者の教育・研修を推進し、さらなる医療の質向上に向けて努力し、これからも国民の皆様から信頼される医療の提供」をめざします。

今後とも国立病院機構病院へのご理解とご指導をよろしくお願い申し上げます。



独立行政法人国立病院機構
九州グループ担当理事
森田 茂樹

国立病院機構の特色

充実した
研修制度による
スキルアップ

多職種での
チーム医療活動の
推進

機構病院の
ネットワークによる
情報交換

専門性を活かした
研究、学会活動

国立病院機構が担う医療

国立病院機構は、国の政策としての医療の直接的な担い手として、重要な役割を果たしています。国立高度専門医療研究センター(ナショナルセンター)と連携した政策医療ネットワークを活用し、専門性の高い医療の実践を行っています。

政策医療とは?

国民の健康に大きな影響のある疾病に関する医療、その他の医療であって国の医療政策として国立病院機構が担うべきものです。

国立病院機構の提供する医療とネットワーク

[5疾病5事業等地域医療への貢献]

5疾病	脳卒中	がん	5事業	へき地医療	救急医療
糖尿病	急性心筋梗塞	精神疾患	周産期医療	災害医療	小児(救急)医療

[その他ネットワーク]

感染症	血液疾患
肝疾患	感覚器
免疫異常	消化器疾患
骨・運動器疾患	成育医療

[セーフティネット]

他の設置主体では必ずしも実施されないおそれのある医療

重症心身障がい児(者)	筋ジス・神経	結核・呼吸器疾患	エイズ
-------------	--------	----------	-----

国立病院機構の運営方針

質の高い医療を、効率的な運営で実施しています。

[医療の向上、公衆衛生の向上・増進に寄与]

1. 診療

- 患者さんの目線に立った医療
 - ・分かりやすい説明と相談しやすい環境づくり
 - ・セカンドオピニオン制度の充実

- 安心・安全な医療の提供
 - ・医療倫理の確立
 - ・医療安全対策の充実

- 質の高い医療の提供
 - ・クリティカルパスの活用
 - ・EBMの推進
 - ・長期療養患者のQOLの向上等



2. 臨床研究

- ネットワークを活用したEBMのためのエビデンスづくりの推進
- 治験の推進
- 高度・先進医療技術の臨床導入の推進
- 研究倫理の確立



3. 教育研修

- 質の高い医療従事者の育成
 - ・医師、看護師のキャリアパス制度の構築(充実)
 - ・医療従事者研修の充実
- 地域医療に貢献する研修事業の実施



4. 災害時等における活動

- 災害医療に対する迅速な対応
 - ・災害等の発生時には被災地に医療班を派遣し、現地で災害医療支援を実施。
 - ・日本赤十字社とともに、国民保護法に基づく対応を行う公共機関として指定。

災害医療支援

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に際し、地震発生当日より被災地にて、災害急性期の医療活動を展開するとともに、継続的な医療支援のために約1,710人(のべ約1万人/日)の職員を随時派遣。

[効率的・効果的な運営を実施し、安定的な経営基盤の確立]

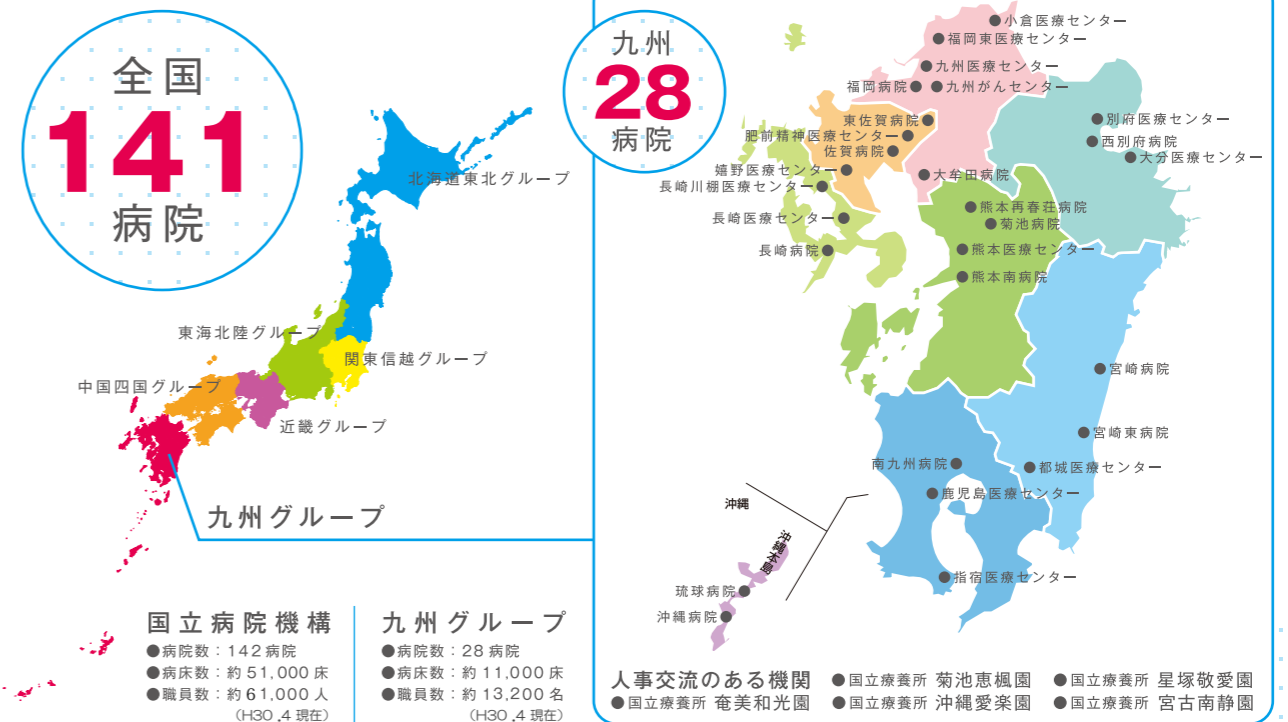
- 管理部門を縮小し効率的な業務運営体制
- 内部統制の充実
- 医療品等の調達価格の抑制
- 業務運営コストの削減

▶ 経常収支率 100% 以上

国内最大規模の病院ネットワーク

全国141病院のネットワークを最大限に活かした体制。

国立病院機構は、全国に141の病院をもつ日本最大規模の医療グループです。このネットワークを最大限に活かし、医療の最前線で活躍する力を身につけられる教育プログラムやキャリアパスのバックアップで、あなたの可能性が大きく広がります。



病院薬剤師としての業務の実践

総合的にスキルアップでき、薬の専門家として着実に成長します。

幅広い調剤業務の実践

入院・外来患者の内服薬（錠剤、散剤、水剤等）、外用薬及び注射薬の調剤・監査業務のほか抗がん剤調製や特殊製剤調製等、個々の患者さんに応じて様々な業務を実施します。

病棟業務の実践

処方薬に基づき服薬指導を実施するだけでなく、カルテ情報として治療方針や検査結果がわかります。医師、看護師と連携し、安全で効果的な薬物治療が提供できます。医師と事前にプロトコルを作成し薬剤師が薬学的介入を行ったうえで処方や検査を提案する薬物治療管理P BPM (Protocol-Based-Pharmacotherapy-Management) を開始する病院もあります。

治験（臨床試験）の推進

国立病院機構のネットワークを活用して迅速で質の高い治験を推進しています。東京の機構本部に中央治験支援室、120病院に治験管理室を設置。

■ 治験管理室の設置

治験が適切かつ安全に実施できるように、治験管理責任者、治験管理実務責任者が中心になって、患者さん、治験関連企業等のサポートをしています。

※治験・・・人における試験を一般に「臨床試験」といいますが、「くすりの候補」を用いて国の承認を得るための成績を集める臨床試験は、特に「治験」と呼ばれています。

■ 臨床研究コーディネーター（CRC）の配置

治験に携わる医師への支援、治験を円滑に遂行するための調整、被験者となる患者さんへのインフォームドコンセント補助、心のケア、治験依頼者への対応（事務局業務等）の役割を担う臨床研究コーディネーターを全国に配置（薬剤師 101名、うち九州 23名）し、治験を円滑に進めています。

チーム医療の実践

病院内では、多職種でのチーム医療活動を実践できます。



ミキシング



病棟業務



患者参加の教室で説明

国立病院機構で働く薬剤師独自の特徴

チーム医療の充実や連携強化、医療人としての倫理観やコミュニケーション能力の育成を目的とした各種研修

新規採用者研修

（国立病院機構九州グループ主催の2日間研修）

1日目：他の職種も含めたビジネスマナー等の合同研修
2日目：職種別研修（資格認定、臨床研究、症例検討等）



新規採用者研修会

【最近のテーマ】

23年度：TDM
24年度：がん化学療法
25年度：小児・妊婦・授乳婦薬物療法
26年度：治験、臨床研究業務

スキルアップ研修

経験年数や役職別に対象者を絞ったテーマを設定して実施。



病棟での多職種連携

多職種共同研修の一例

- HIV感染症研修
- 災害医療従事者研修
- 初動医療班研修
- 初級者CRC養成研修
- 上級者CRCを対象とした研修
- チーム医療研修
- 医療安全対策研修
- NST研修
- 青年共同宿泊研修
- 治験研修
- クリティカルパス研修
- チーム医療推進研修（がん化学療法、輸血）



薬剤師の職能を拡げる専門性を活かした研究、学会活動

超急性期医療から慢性期医療
医療、研究、教育
認定・専門資格取得もやる気次第！

認定組織	名称	習得者数
日本病院薬剤師会	がん専門薬剤師	1
	がん認定薬剤師	13
	感染制御専門薬剤師	4
	感染制御認定薬剤師	8
	精神科専門薬剤師	1
	精神科薬物療法認定薬剤師	1
	妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師	1
	HIV感染専門薬剤師	1
	HIV感染症薬物療法認定薬剤師	1
日本医療薬学会	がん指導薬剤師	1
	がん専門薬剤師	3
	認定薬剤師	8
	認定指導薬剤師	5
日本臨床腫瘍薬学会	外来がん治療認定薬剤師	5
日本臨床薬理学会	認定CRC	15
日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師	2
日本静脈経腸栄養薬学会	NST専門療法士	28
日本糖尿病療養指導士認定機構	日本糖尿病療養指導士	9
日本化学療法学会	抗菌化学療法認定薬剤師	1
日本臨床救急医学会	救急認定薬剤師	1

H27.7.1 現在



学会での発表

機構病院のネットワークによる情報交換

国立病院総合医学会

全国6グループが毎年持ち回りで開催している医学会です。全国の国立病院機構病院のほか、厚生労働省、国立医療研究センター、国立ハンセン病療養所などの職員が『シンポジウム』『口演』『ポスター発表』などにより研究発表を行います。約8000人が集まる大規模な研究発表の場です。



総合医学会



全員交流会

九州地区国立病院薬剤師会 総会・研究会・懇親会

九州内の機構病院及びハンセン病療養所の全施設から豊富な知識、経験を有する薬剤師が集まるイベントです。



薬学研究会 懇親会



薬学研究会 総会

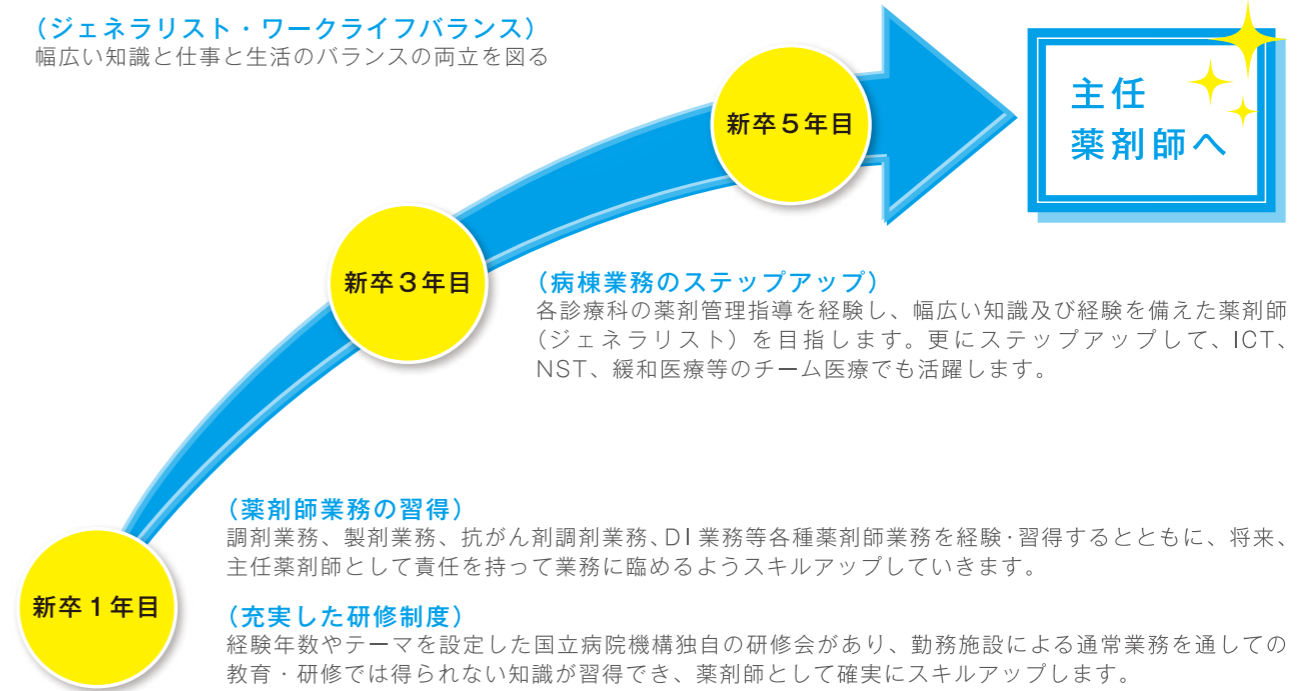
基本的なキャリアパス制度

(各種研究や認定・専門薬剤師資格取得)

学術研究をプランニングして学会発表したり、論文を投稿できるようにします。また、がん・感染・精神・妊婦・授乳婦等の認定・専門薬剤師資格取得を目指します。

(ジェネラリスト・ワークライフバランス)

幅広い知識と仕事と生活のバランスの両立を図る



キャリアアップの道

認定・専門資格取得も
幹部職員への
キャリアアップも
あなたのやる気次第！



- 採用後は定期的に、九州内の国立病院機構病院及びハンセン病療養所の間で人事異動(転勤)があります。
- また、国立病院機構本部や厚生労働省本省、医薬品医療機器総合機構(PMDA)への異動がある場合もあります。

※職員数はH27.4.1現在

福利厚生面の充実

休暇制度や出産・子育て制度等国家公務員に準拠した制度により、仕事と生活の両立を図ることができ、安心して仕事が続けられます。



1Day

ある薬剤師の1日

熊本再春荘病院 薬剤師
千場 美奈 平成25年度入職



午前

常駐している病棟の処方内容を監査し、処方箋を印刷します。患者さんの病態や検査値等を確認し、疑義がある場合は主治医へ疑義照会します。



朝礼から始まります。申し送りや一日のスケジュールを確認します。

薬局では外来や入院の抗がん剤の無菌調製を行っています。被ばくのないよう安全キャビネットの中で調製します。



病棟へ上がり、前日に緊急で投与された内服薬や注射の実施済み処方を行行オーダーします。

午後

入院された患者さんの病室へ行き、初回面談を行います。症状の確認や持参薬の確認等情報収集をします。



患者さんの状態を把握し、持参薬や処方内容や検査値等を確認し服薬指導を行います。コンプライアンス向上のため、投与スケジュール表やパンフレットを用います。



患者さんの副作用のモニタリングや、カンファレンスへ参加します。病棟では医師、看護師をはじめほかの医療スタッフと情報交換し連携します。

業務中に疑問に思ったことは先輩の先生方に質問し解決していきます。



内服薬と注射の調剤業務をします。



入院患者さんについて先輩の先生に相談し、申し送りをします。明日の業務の予定を立てます。



病棟や薬局で勉強会に参加します。常に新しい情報を収集し薬剤師としての知識や技術の向上に努めています。

勉強会

10years

ある薬剤師の10年

長崎医療センター 主任薬剤師
花田 聖典 平成18年度入職



熊本医療センター勤務(入職1年目~5年半)

熊本医療センターは、急性期総合病院であり、当時はまだ実施している施設が少なかった夜勤業務。夕方から翌朝まで一人で調剤室業務を任せられます。たった入職4ヶ月で夜勤に入り、不安だらけで朝が来るのがとても待ち遠しかったです。入職3年目で救命救急センターの専従を初めて任せられ、悪戦苦闘しながら手探りで始めていました。薬物治療への介入によって日に日に容態が奏功していく様子を身近に感じられることにこの上ない喜びを感じ、救急医療に携わる薬剤師を志したきっかけとなりました。



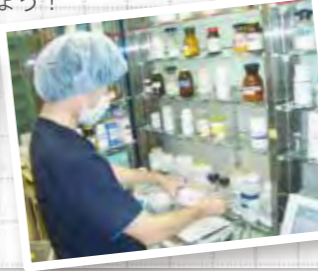
熊本再春荘病院勤務(入職5年半目~2年半)

前任施設とがらりと変わり、重症心身障がいや筋ジストロフィーといった政策医療を担う慢性期疾患を多く扱う病院です。自分にとって未知の領域であり、それまでの知識や経験では通用しない薬物治療がそこにはありました。これまで薬剤師としての考え方が偏っていたことを痛感し、そこから新たに多くの薬物治療を学び、薬剤師としてさらに大きく成長することができました。



長崎医療センター勤務(入職9年目~現在)

ドクターヘリの基地局でもある急性期総合病院です。救急認定薬剤師を取得することができ、心新たに救急領域の薬物治療に携わっています。一方、若手薬剤師が救急領域の薬物治療に興味を抱き、積極的に携わっていただけるように、現在後輩の育成にも力を注いでいます。救急を志す熱い希望を持った君達を待っています！共に汗をかきましょう！



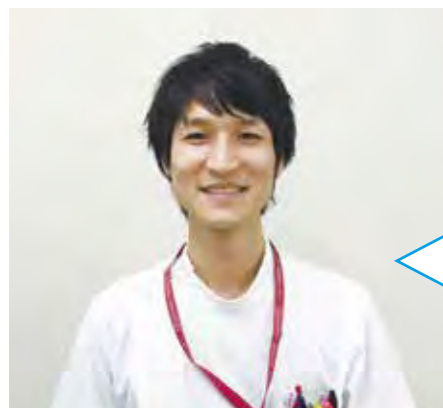


宮崎東病院 薬剤師
森澤 亮太 平成26年度入職

病院薬剤師2年目として

当院は、大きな国立病院と比べ薬剤師の人数は少ないですが、肺癌や結核、神経難病等様々な疾患に関わる機会があり勉強になります。チーム医療も盛んに行われており、私はICTの一員として、感染制御専門薬剤師の取得を目指し活動しています。

将来がまだ明確でない人も、一緒にやりたいことを見つけてみませんか。



九州医療センター 薬剤師
藤田 強記 平成20年度入職

急性期・慢性期を経験した薬剤師として

私は、肥前精神医療センター(旧療養所)で4年間経験を積み、九州医療センターへ異動となりました。

肥前は精神科単科であり、他施設よりも精神科について深く学ぶことができました。不安や憂鬱は患者さんの誰しもが抱え得る感情であるので、最初にしっかりと学べたことはいい経験だったと思います。また、他職種と距離が近いのも中小病院の特徴かと思えます。

九州医療センターは総合病院であり、各領域について広く学び、担当した領域については実臨床で深く学ぶことができるので、日々勉強の毎日を送っています。また、肥前で得た経験を活かし、NST専門療法士・精神科薬物療法認定薬剤師を取得しました。

各病院に特徴があるので、異動することで新たに学び、スキルアップできるのは国立病院機構の特色だと思います。



別府医療センター 主任薬剤師
鳥山 陽子 平成18年度入職

がん専門薬剤師として

がん専門薬剤師として、医師や看護師等他職種と協働してがん薬物療法に関わっています。がん薬物療法の適正化という面で薬剤師の担う役割は多岐に渡ります。その中にはレジメン管理や副作用対策の標準化、スタッフ教育、患者さんへの指導があります。更に実際の患者さんとのやり取りのなかで判明した副作用に対する処方提案、その後のフォローも重要です。新しい薬剤が次々と承認されるので日々の研鑽は欠かせませんが、患者さんからの「ありがとう」にやりがいを感じて日々業務に取り組んでいます。



嬉野医療センター 主任薬剤師
植村 ちひろ 平成19年度入職

結婚・出産を経験した薬剤師として

2013年に出産し、ただいま子育て真っ最中です。出産や育児に関する制度が色々と整備されており、院内保育園や時間短縮勤務等を活用しながら働いています。

私自身、がん薬物療法認定薬剤師という資格を有していますが、復職後も、その資格を活かして外来治療センターでの指導をしています。仕事に育児にと決して楽ではありませんが、充実した日々を過ごしています。



厚生労働省保険局医療課 主査
高崎 紘臣 平成21年度入職

行政を経験している薬剤師として

4年前に出向し、現在、厚生労働省保険局医療課において、病院・薬局薬剤師関連の診療報酬改定や薬価改定、新薬及び後発医薬品の薬価算定業務に携わっております。国立病院機構では、現場で働く他に、希望すれば行政の視点から医療を学ぶことも可能です。様々な立場から医療の世界を眺めることができる国立病院機構はチャンスが多い職場と思います。

病院薬剤師としてこれから働く方々へのメッセージ

Message

患者さんに安全で効果的な薬物療法を提供することが薬剤師の使命です。国立病院機構では、やりがいを持って働くことができ、充実した教育システム、多職種でのチーム医療活動により、薬剤師、そして医療人として大きく成長できます。

国立病院機構九州グループでは、情熱のある優秀な人材を求めています。ぜひ、一緒に国立病院薬剤師として働きましょう！

